

Partial Translation of Japanese Utility Model Publication No. 57-113709

A circle like convex part 2 is formed in a diameter side of a bottom of a nut 1, a circle like concave part 3 is formed outside of the convex part 2, a top of the convex part 2 has a guide angle  $\alpha$  for focusing inwardly, and it is constituted that a circumference of a incomplete screw 5 of a counterpart bolt 4 is pressed against an axis when the nut is settled; 6 indicates a body of a bolt screw, 7 indicates a screw part of the nut 1, 8 indicates a metal plate.

BEST AVAILABLE COPY

BEST AVAILABLE COPY



後記号なし

実用新案登録願 (D)

昭和55年12月30日

特許庁長官 島田 春樹 殿

1. 考案の名称

廻り止めナット

2. 考案者

フリガナ 静岡県浜田郡竜洋町堀之内 / 638-37  
住所  
フリガナ マス ヲ 正 計  
氏名 増 谷 氏 ほか / 名

3. 実用新案登録出願人

フリガナ 静岡県浜松市御給町283番地の3  
住所  
フリガナ リズム自動車部品製造株式会社  
氏名(名称)  
代表者 フジ 田 昌 次 郎  
(国籍)

4. 代理人 〒432 電話 (0534) 53-2539

住所 静岡県浜松市鶴江3丁目 / / 番25号

氏名 4973 野 保 男

5. 添付書類の目録

✓(1) 明細書 1通  
(3) 願書副本 1通

✓(2) 図面 1通  
✓(4) 委任状 1通



113709

66

方 式 審 査



# BEST AVAILABLE COPY

## 明 細 書

### 1 考案の名称 廻り止めナット

### 2 実用新案登録請求の範囲

ナットの下端内径部側に環状突出部を形成しその外側に環状凹部を設け、上記突出部の先端は内側絞り導入角を有しナット締結時に相手ボルトの不完全ネジ部附近を軸周に対し押圧するよう構成したことを特徴とする廻り止めナット

### 3 考案の詳細な説明

この考案は廻り止めナットに関するものである。従来ナットの廻り止めは、溝付ナットを用いネジ本体の割りピン穴とナットの割りピン嵌合溝とを合せて割りピンを取付け、割りピンの抜け止めとして当該ピンの先端を折り曲げて固定するようにしたものが多用されて居る。本案はかかる割りピンなど使用せず従ってその組付手数を要せずして簡単且つ確実な廻り止めの目的を果しうるナットとして案出したものである。

次に本案を図面について説明する。

ナット 1 の下端内径部側に環状突出部 2 を形成し

BEST AVAILABLE COPY

その外側に環状凹部 3 を設け、上記突出部 2 の尖端は内側絞り導入角  $\alpha$  を有し、ナット締結時に相手ボルト 4 の不完全ネジ部 5 附近を軸周に対し押圧するように構成したもので、6 はボルトネジ本体、7 はナット 1 のネジ部、8 は金属板を示す。本案は上記のごとく構成したものであるから、金属板 8 に挿設したボルト 4 のネジ本体 6 にナット 1 を螺合し当該金属板に締付けるものであるが、先づナットの環状突出部 2 が金属板 8 の表面に当り、更にナットを締付けることによって環状突出部の内側絞り導入角  $\alpha$  に従い当該突出部 2 の尖端 2 a が内側に絞り曲げられ、ネジ本体 6 の不完全ネジ部 5 附近のほぼネジ下端部に圧接しネジ外径よりも小径となるためにナットの弛みを防止するようになる。又ネジ外径の一部変形をも生ずるような場合もあり、かかる場合は一層弛み止めは強化される。ナットを離脱するときは、ナットを高トルクで逆回転させれば環状突出部 2 が自動変形してネジ本体 6 から容易に取外すことができる。環状凹部 3 の設定はこの環状突出部 2 の絞り曲げ

或はナット逆回転時の当該突出部の自動変形を円滑に機能させるための逃げを設けるものである。本案はかくの如くナットの下端に環状突出部があり指定締付トルクで締付けるだけでこの突出部が絞り曲げによる廻り止めをすることができるから従来のような割りピンの使用やその取付手数をかけるなどの組付作業は全く不要となりしかも締付弛み止めは強力で、ナット離脱も逆回転のみで簡単に行いうる等非常に便利で実用的価値はきわめて大である。

#### 4 図面の簡単な説明

第1図は本案ナットの縦断面図、第2図は本案ナット締付状態を示す断面図である。

1 ..... ナット、2 ..... 環状突出部、3 ..... 環状凹部、5 ..... ボルトの不完全ネジ部

実用新案登録出願人

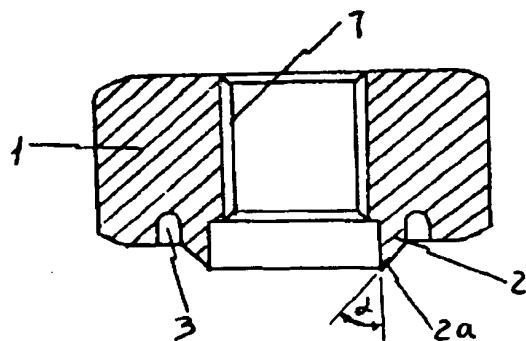
リズム自動車部品製造株式会社

代理人

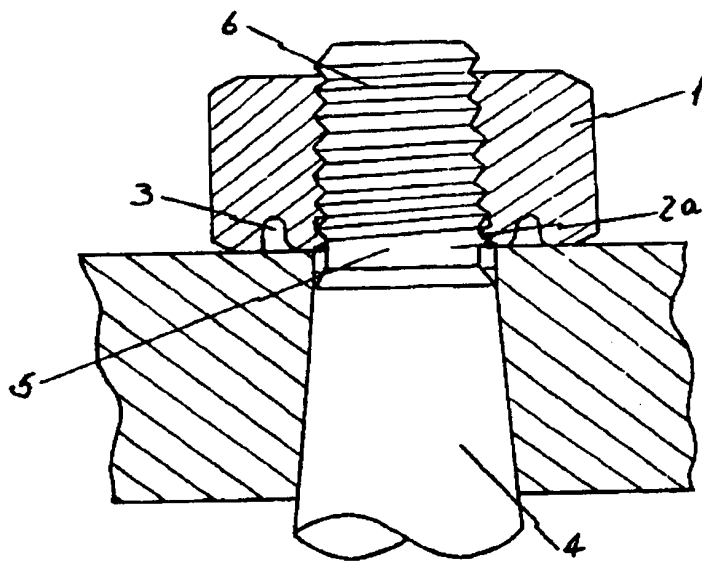
浅野保男

公開実用 昭和57— 113709

第 1 図



第 2 図



113709

70

實用新案登録出願人  
 株式会社自動車部品製造  
 代理人 浅野保男

6. 前記以外の考案者

住所 東京都<sup>ナカノ</sup>中野区<sup>クヒガシナカノ</sup>東中野 / 丁目48番 / 号  
氏名 <sup>マエ</sup>前 <sup>ナミ</sup>波 <sup>ヒデ</sup>秀 <sup>ノリ</sup>則